

美味しい、大きい、作りやすい、三拍子揃った中早生バイカラー種！

(一代交配)

トウモロコシ

どきどきコーン

Sweet Corn, Dokidoki Corn Hybrid



カネコ種苗株式会社

TEL. 027(251)1611(代)

美味しい、大きい、作りやすい、三拍子揃った中早生バイカラー種！

(一代交配)
トウモロコシ

どきどきコーン

Sweet Corn, Dokidoki Corn Hybrid

●特性●

- (1) トンネル～露地栽培に適する生育日数85日程度のバイカラーコーンです。
- (2) 発芽、初期生育がよく、倒伏にも強い、作りやすい品種です。
- (3) 穂重は430g程度で大きく、先端不稔と露出が少ないです。
- (4) 黄色と白色の大粒で、列揃いがよく、形の良い穂です。
- (5) 甘みが強くジューシーで、食味の良い品種です。

※本品種は特性上、地際部および雄穂が赤くなります。

●栽培要点●

(1) 播種適期

本品種は中早生なので、トンネル～露地栽培まで広く栽培できます。関東地方平坦地のトンネル栽培であれば、3月中旬からが適期です。

(2) 圃場準備と施肥

排水が良く、有機質に富んだ、肥沃で乾燥しにくい圃場が適します。播種の2週間前までには、10a当たり完熟堆肥2t、苦土石灰100kg、燐燐60kgを施用し、深耕しておきます。

元肥として、化成肥料をN・P・Kの成分量で25・25・25kg/10aを施用します(トンネル栽培の場合は20%程度増量します)。元肥一発肥料のベストマッチ肥料を使うと生育が良くそろい、肥大期まで肥切れなく大きな穂の収穫が期待できます。

(3) ベッド作りと栽植本数

栽植本数は、3,500～4,000株/10a(平均畦幅80cm・株間30cm)程度にします。例として、9230マルチなどを使い、ベッド間は80cm程度にします。ベッド間を広く取ると受光面積が拡大し穂が大きくなる他、薬剤散布や収穫作業が容易になります。

寒冷期の作型では、透明マルチで地温を上げ、温暖期の作型では、黒マルチで雑草を抑えます。トンネル資材は、有孔ポリや孔なしなどを時期によって使い分けます。

(4) 播種

地温13℃以上を目安として、1穴3粒程度播種します。

育苗をする場合は、根傷みに注意してできるだけ深いトレイを使用し、2～2.5葉期頃までに定植します。活着不良が起ると、生育不良につながり、小穂の発生や開花期のずれ等による不稔の原因になるので、保水と保温に努めます。

(5) 間引きと追肥

3～5葉期に、残す株の根を傷めないようにはさみ等で切って間引きをし、1株立ちにします。追肥は、膝丈期と雄穂出穂期に、N・K成分で各5kg/10a程度行います。

(6) 除けつと除房

分けつ枝からは、栄養分が転流されて穂が大きくなる他、分けつ枝があることで根張りも良くなり、倒伏防止にもつながります。したがって除けつせず、残しておくことをおすすめします。また絹糸抽出後、早いうちに一番上の穂だけ残して除房すると穂が大きくなります。

(7) 害虫防除

穂や莖に食い込むアワノメイガやオオタバコガ、雌穂の汚れ等を招くアブラムシを防除する薬剤を、雄穂出穂期から1～3回程度散布します。特にトンネル栽培以降は、虫害が増えるので、念入りに防除します。

(8) 収穫

絹糸抽出後、22～25日頃が収穫適期です。若どりすぎると甘さが薄く、過熟だとしなびてしまうので、暑い時期の収穫は、絹糸抽出後20日過ぎ頃から注意して収穫適期を逃さないように努めます。

なるべく早朝に採り、甘さが保持できるように低温保存にて出荷します。

本品種はバイカラー種なので、イエロー種の花粉がかかると白色粒の割合が減り、品種本来の特性が発揮できないことがあります。イエロー種とは、開花時期をずらす、または離して栽培するようにしましょう。

※「ベストマッチ」肥料のお問い合わせはこちらまで。
カネコ種苗(株) 農薬部肥料推進グループ TEL027(251)1616

●栽培作型●

		3	4	5	6	7	8	9
冷涼地	マルチ			○	○		■	
	トンネル	○	○		■		■	
中間地	マルチ		○	○		■		
	露地			○	○		■	
暖地	トンネル	○	○		■		■	
	マルチ		○	○		■		

○・○ 播種期 — 生育期 ■ 収穫期 ◩ トンネル

カネコ種苗株式会社

〒371-8503 前橋市古市町1-50-12
TEL. 027(251)1611(代)

一般社団法人
日本種苗協会
登録番号 10001号

取扱店